

## 静岡児童合唱団

### 夏季合宿を終えて…

9月1日(土)2日(日)に、久しぶりに練習生以上で、夏季合宿を行いました。油山苑に宿泊し、パツハハウスにて練習を行いました。また、2日(日)には、養成部も油山苑に集まり、合同練習、お楽しみ会、そして保護者会も開催致し、その後、パツハハウスにて、2台チェンバロのコンサートを鑑賞しました。短い期間で慌しく過ごしましたが、とても楽しいひとときを共に分かち合うことが出来ました。後日行われた反省会での団員達の言葉を織り交ぜながら、合宿の様子をご報告しましょう。

3時半頃、油山苑に到着し、部屋割りの後、早速向かいのパツハハウスに移動し、練習をしました。11月のパツハハウスでのコンサートで演奏するパツハのカンタータをオルガンと共に練習し、パツハハウス特有の響きを体験しました。練習中、太田千絵ちゃんが歌いながら、ソプラノに向かって指揮をしたのです！ソプラノをまとめようと一生懸命になり、思わず手が出てしまったと。最近の高3の積極性には目を見張るものがあります。練習の後は、露天風呂で入浴。とても気持ち良く、皆、長湯でした。貸切りで泊まらせて頂いた「油山苑」は、とても快適でした。お食事がとても美味しかった。初日の夕食は、格別。山女の塩焼きをはじめ、てんぷら、茶碗蒸などどれもとても美味しく、皆苦しくなるほど食べました。ご飯を何杯もお代わりした人もいて…。「自分の家にいるように自然に出来て、良かった。」「食事中もとても楽しかった」「皆が自分で出来ることはきちんとやるようにしていたので、とても楽だった」「もっと、積極的に自分で出来る事を考えた方がよかった」「上級生は、もっと先の事まで考えて、指示が出来ると良かった…」「勝手にやらないで、上級生に聞いてからやるべきだった」「小さい子が班長さんに何でも聞いてから行動してくれたので、とても良かった。」

それぞれに、いろいろな反省があり、年齢、立場に応じて、多くの事を学んだようです。

食事の後は、お楽しみ会。各学年が工夫を凝らし、クイズやものまね、歌のアンサンブルなどを披露しました。高3の浴衣姿は、とてもかわいかった。

2日目は、養成部が集合。普段はなかなか会えない演奏クラスと一緒に混ざって、5班に分かれ、楽しい時を過ごしました。

合宿の締めくくりは、廣乃先生のラ・クレ・ダムールのコンサートを鑑賞しました。当日券を買われたお客様が大勢い

らっしゃり、団員達の席がなくなってしまい、皆階段に座ったり、窮屈な思いをしましたが、よく2時間聴いていました。

慌しく過ぎた2日間でしたが、皆がとても仲良くなり、充実した時を過ごすことができました。来年は、もう少し長く、また養成部も1泊お泊まりをしましょう、と約束をして、無事に合宿を終了しました。



### 私の夏休み…

夏休みには、それぞれいろいろな体験をした事と思います。合唱団の夏休みを利用して、フランス旅行を楽しんだ曾根姉妹のリポートです。

#### ●曾根可奈子さん(高1)

去る8月12日から、私は家族やいとこ達とフランスへ旅行に行きました。小学校、中学校の時に1度ずつ行った事のある国で、今回は新たに高校生としての観点で「フランス」というものを見る事ができたと思います。

私達はアパートマンという短期で借りられるホテル型アパートに泊まりました。そこで、食事も自分達で作って、買い物も自分達で行ったので、ホテルに泊まるより、倍くらいフランスを楽しめたと思います。フランスは何年も前の建物を外観だけ残すようにしています。例えばルーブル美術館は、ブルボン王朝の建物ですが、外壁、彫刻、屋根などはそのまま、中は近代的なコンクリートで固められた美術館になっています。同じように普通のアパートや会社なども外壁は修理した昔のままのものを使っています。これは昔からの文化を残すと同時にその文化に誇りを持っているからこそ出来るのではないかなと思います。日本に外国人の方がやって来ると想像していた瓦屋根の家やいわゆる「昔の日本」のものが無いというカルチャーショックを受ける事がありますが、フランスの場合、それが逆でした。近代化を進め、未来にむかっていくことも大事だと思うけれど、後ろを振り返り、今までの文化に手を差し伸べるのも大事だということを感じました。

それは、8月15日にも同じように感じました。この日は聖母マリア様の亡くなられた日で、各地の教会で大きなミサが行われました。アラブ系の人、白人、黒人、沢山の人がノー

トルダム寺院というフランスの有名な教会に集まり、御ミサを待っていました。御ミサの中で皆が歌っていた聖歌を聞きながら、色々な人種の方がその壁に隔てられることなく、ひとつのものを崇拜するというこのすごさを感じ、私も合唱団員として、ポリフォニーをもっと宗教的な面から見て歌いたいと思いました。

今回の旅行は、ベルサイユ宮殿やモネの生家など色々な所に行き、沢山のことを感じ、実りある旅行になったと思います。そのことをこれからの生活に活かしていきたいです。

#### ●曾根裕子さん(中1)

私がフランスへ行ったのはこれが2回目です。2回とは言っても、1回目は幼稚園児の頃なのでほとんど覚えていません。今度の旅はとても楽しかったので、よく思い出す事が出来ます。

バスから見たパリの街並みはとてもきれいで、広大な小麦畑なども沢山ありました。家やホテルの一つ一つにも歴史や伝統を感じるので、高いビルばかり建てている日本とは大違いだと思いました。

私が行った観光スポットは、モンサンミッシェル、オペラ座、凱旋門、エッフェル塔などです。中でもモンサンミッシェルは、引き潮の時だけ道が現れて、満潮になると道が海に浸って行けなくなるので、一体誰がこんなことを考えたのだろうと思いました。残念ながら音楽関係のものはどこにもなかったけど、美術館や観光名所をまわるのもいいものだな、と思いました。

1日バスに乗りっぱなしになったり、姉といとこが逆バンジーをやったりと、いろいろ疲れたけど、とてもいい思い出になりました。

#### AOIコンサートシリーズ 古部さんコンサート

昨年、AOIでのバッハ『ロ短調ミサ』のコンサートで共演した古部賢一さんのオーボエ・コンサートが10月26日(金)に開かれました。廣乃先生も出演され、オーボエの魅力を楽しむ事が出来ました。古部さんのよくコントロールされた繊細な演奏とチェンバロとの絶妙な掛け合いは、AOIの空間によく溶け込んでいました。古部さんのあの呼吸法はとても勉強になったと、演奏クラスの団員が話していました。

#### ソフィア少年少女合唱団 来日

私達の姉妹合唱団、ソフィア少年少女合唱団が東海大学創立者松前重義生誕100年記念行事のため、東海大学の招きにより来日しました。10月27日(土)、清水市民文化会館でのコンサートに演奏クラスの有志が出掛けました。コンサート終了後、また翌日静岡駅に見送りに行き、短い交流を楽しみました。今回、オペラ歌手となった3人の卒団生も来日し、その成長ぶりを聴かせてくれました。

#### 11月のコンサート

芸術の秋には、沢山のコンサートがあります。

11/11(日)バツハハウス 秋のコンサート

廣乃先生、Duo Alitis、練習生以上 出演  
合唱団はバッハのカンタータに挑戦です。廣乃先生のオルガンに合わせ、ドイツ語で歌います。

11/22(木)ムジカ・パシフィカJPN 定期演奏会 東京

24(土)ムジカ・パシフィカJPN 定期演奏会 静岡

アメリカより、ジーン・キムさんを招き、A. スカルラッティの『スターバト・マーテル』をはじめ、初期イタリアバロック作品を中心としたコンサートです。静岡公演では、練習生以上がスターバト・マーテルを、古楽器の弦楽アンサンブルと共に演奏します。

#### 県立美術館ロダン館コンサート

第3回目のミュージアム・コンサートが、11月25日(日)開かれます。今回は、Musica Pacifica JPNの太刀川先生や廣乃先生らが中心となり、初めてロダン館でチェンバロやヴィオラ・ダ・ガンバの音色が響きます。もちろん、合唱団も共演します。太田さんや前畑君がソリストに加わりません。2代目カウンターテナー(前畑くん)と、初代カウンターテナーの大先輩との共演です。

14:00開演 一般・大学300円 小・中・高生70歳以上無料



#### 第54回音楽青葉会研究発表会

来年の発表会の日程が決定しました。

2002年4月19日(金)・20日(土)・21日(日) 静岡音楽館AOI  
各自、次回の発表会に向けて、頑張りましょう。

#### 養成部 クイズコーナー

問題: 上と下を氷で挟まれているのに、真ん中は熱いものなあに?

## 青葉会スペリオル

メンバー紹介の第2回目は、東ドイツ演奏旅行を経験した3人のメンバーです。

### ◆丸山尚子さん(旧姓: 淀)

卒団して15年余りが過ぎました。今また、スペリオルの一員として歌い合う楽しさを感じられることに感謝しています。声楽の勉強を続けていますが、声を重ね合わせていく合唱には、一人で歌う時よりもさらに世界が広がっていくような感じがして大好きです。

団員だった頃、練習の中で一番好きだったのは、実は先生のお話でした。音楽のことだけでなく、生き方そのもの話を聞くことが大好きで、「このままずっとお話を聞いていたいな」と思うこともありました。その中で一番多く耳にし、心に残っている言葉は「臨機応変」と「たくさんの引き出しをもつ」です。今は先生にさせていただいた沢山のお話を若い人に伝えようと思っています。

現在は夫と3才の息子と暮らしています。息子が合唱団の一員になることを楽しみに、また一緒にステージに立つことを楽しみに練習に励んでいます。(1986年卒団)

### ◆高須恵理子さん(旧姓: 鈴木)

合唱団の歌声、皆さんが歌っている姿は、卒団しても私の原点で、勇気と元気が与えられたものです。客席から静児を陰ながら、応援できたらいいなあ、と思っておりましたが、卒団して13年経ち、またこうして、スペリオルの一員として歌う機会が与えられ感謝しております。これからは、観客+団員として、静児を応援していきたいです。

不思議なもので10年以上経っても、4階のお稽古場に入ると、練習に通っていた昔の自分がいました。初めての練習では、懐かしいポリフォニーの響きに鳥肌がたちました。一生懸命やってきた事は、いつまでも体が覚えている事を発見しました。

更なる音への追求をしつつ、幅広い世代の交流を楽しんでいきたいと思います。(1988年卒団)

### ◆杉原和子さん(旧姓: 淀)

今年は、スペリオルの一員として何年かぶりにステージに立つことが出来、心地よい緊張感を思い出しました。私は歌うことが好きなんだと改めて思いました。

合唱での『厳しさ』を『楽しさ』と感じるようになったのは、中学3年生の時でした。受験と演奏旅行が重なった時でした。演奏旅行へ向けて練習も厳しくなり、勉強も思うようにはかどらず、すべてが中途半端だった時に先生に喝を入れられました。それから自分自身の目が覚めたように思います。一生懸命やれば厳しさも苦しさもすべて自分の財産になります。けれども、いい加減にやっていたら苦しみはただの苦しみで終わってしまう、そんな気がします。

9月23日、女の子を出産しました。年に数回ですが、手紙のやり取りをしているブルガリアの友達に、早速このことを報告しようと思います。(1988年卒団)



### お知らせ

12月の養成部・練習生・演奏クラスの合同練習は、下記のとおり行われます。

12/8(土) 4:00~6:00 静岡音楽館AOI 講堂

12/16(日) 2:30~4:30 静岡音楽館AOI リハーサル室



## 先生方の動き

### 戸崎先生

- テレビ静岡番組審議委員会出席
- AOI主催「こどものための音楽ひろば」合唱指導
- 全日本ジュニアコーラス・フェスティバル2001 全日本合唱連盟主催 講評執筆 ハーモニー 秋号



### 廣乃先生

- 9/2,4,6,8 ラ・クレ・ダムールコンサート(静岡・東京・尾張旭・黒部)
- 9/22 ミュージアム・コンサート 名古屋
- 10/19 ギャラリー・コンサート(東京)
- 10/20 テレマンの世界 リコーダー島田暁子(東京)
- 10/26 古部賢一オーボエ演奏会 静岡音楽館AOI 主催
- 11/1~3 CD製作のための録音
- 11/10 コンサートwithソプラノ 石川あずさ(名古屋)



### 文葉先生

- AOI市民会議委員会出席
- JCDA機関誌「コンタクト」〜イギリスからの合唱便り〜連載執筆
- パーセル・カルテット・オペラ・プロジェクト オルフェオ公演 字幕・通訳(水戸、大阪、東京)

答え: 地球